



2025年度のクマ大量出沒と人身被害

～すみ分けの実現に向けた対策強化～



主催：日本クマネットワーク（JBN）

協力：環境省

2026年2月11日（水）

14時30分～16時30分

**Youtube配信
参加費無料**

▼お申込みQRコード



申込期限
2026年2月8（日）



日本クマネットワーク（JBN）オンラインシンポジウム
2025年度のクマ大量出沒と人身被害
～すみ分けの実現に向けた対策強化～開催趣旨



2025年の秋には多くのクマが市街地へ出沒するとともに、多くの人身被害が発生しました。その結果、世間ではかつてないほどクマに対する関心が高まるとともに、クマとの付き合い方をめぐり大きな議論となりました。

クマを巡る状況は、2023年の大量出沒をきっかけに指定管理鳥獣に指定されたことで、人とクマとのすみ分け（ゾーニング）の実現に向けて、積極的な捕獲とともに、被害防除、人材育成、普及活動といった複合的なクマ対策の実施へと舵が切られ始めたところです。しかしながら、依然として現場では出沒したクマへの対応に終始せざるを得ない場面も多く、緊急銃猟やガバメントハンターといった言葉だけが独り歩きし、抜本的かつ中長期的なクマ対策、つまりクマが人間の活動域に出沒しない状況の実現にむけての議論は、まだまだ道半ばです。

2回にわたる過去最大のクマの大量出沒を経験した私たちは、住人の安心安全な生活を確保しつつ、持続的なクマの生息を確保していくことを目指した人間とクマのすみ分けを、どのように実現し、どのように維持していくのかを、本気で考えなくてはなりません。そのため、本シンポジウムではこれまでの対策の効果や課題について整理し、今後のクマの管理のあるべき姿について話し合います。

2025年に東北地方で起きた事態は、クマが生息する地域であればどこでも起こりえます。本シンポジウムはオンライン形式で開催することで、多くの方々にクマ問題を自分事としてとらえる機会としていただくとともに、現場で何が起き、どのような対策が行われ、これから何が行われるべきなのか、といった正しい情報を得る機会となることを期待します。



プログラム



1. 開催趣旨・現状整理 14:30 ~
小池伸介（JBN代表／東京農工大学）
2. 2025年度の状況 14:40 ~
東北地方の状況：大西尚樹（JBN東北地区委員長／森林総合研究所東北支所）
秋田県の状況：近藤麻実（JBN東北地区委員／秋田県自然保護課）
3. 総合討論 15:45 ~
モデレーター 下鶴倫人（JBN副代表／北海道大学）
パネラー 小池伸介・大西尚樹・近藤麻実・
佐藤喜和（JBN前代表／酪農学園大学）
釣賀一二三（JBN北海道地区委員長／北海道立総合研究機構）
佐々木真二郎（環境省鳥獣保護管理室）
4. 閉会 ~16:30



今までの振り返り



JBNシンポジウム「2023年度のクマ大量出沒と人身被害～その実態と背景・今後に向けた課題～」の内容を事前にご確認いただくことをおすすめします。

▶▶ 動画リンク ▶▶ 報告書リンク



2025年度の状況



2025年度の状況についての「提言」及び「現状整理」はJBNのHPをご覧ください。

▶▶ JBN HPリンク



お問い合わせ：event@japanbear.org お申し込みは表面のQRコードまたは以下のURLからお願いします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfLvpw62CRLGmjVxSWLSZ20SESL7JAGoEQaLW_jO4ri41pMvQ/viewform

※ シンポジウムの内容の一部は環境研究総合推進費（JPMEERF20254002）により実施しています。